

(別記)

福祉サービス第三者評価結果公表事項（児童養護施設）

①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

②施設名等

名称：児童養護施設 吾子苑	種別：児童養護施設
施設長氏名： 須賀 清美	定員：30名
所在地 宇和島市吉田町立間尻甲747番地 TEL 0895-52-3332	

③実施調査日

平成25年9月20日（金）～ 9月21日（土）

④総評

◇特に評価が高い点

大正時代からの託児所が、昭和27年児童福祉法による認可を受け、児童福祉施設として発足した。昭和47年社会福祉法人吾子苑として認可を受け今日に至り、現在は老人施設も運営している。

少人数施設の利点を生かし、職員と子どもとが共に過ごす場や時間が多く保たれていると同時に、心理士を配置して被虐待児のみならず職員のケアにも努め、職員研修への取組みもされている。

地域の行事に参加したり、児童対策事業にも参画するなど地域への貢献や交流への取組みが見られる。

◇改善が求められる点

理念や方針に基づき、事業計画の基になる中・長期計画の策定と日頃の業務についての手順や要領を文書化し、業務の一貫性や継続性の維持・向上、児童処遇の充実に努められたい。

また、人事考課の基準化や個別処遇や共同で過ごすスペースの拡充等への取組みと同時に、職員研修の内容充実、地域との交流、地域貢献への一層の取組み、外部監査の導入についての検討を期待したい。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

吾子苑は大舎制ではありませんが、定員30名と小人数の施設のため、より家庭的に近い環境づくりと支援を目指してまいりました。特に職員と子どもたちが共に過ごす時間を多く持ち、子どもたちの意向が伝わりやすい生活スタイルを心掛けています。また、各関係機関と常に連携を取りながら、子ども一人ひとりの年齢や能力等特性に合わせた養育に努めています。

第三者評価を受けることは施設として初めてでしたので、戸惑いも多く、職員全員で行った自己評価も何度も会議を重ねて行ったため、必要以上に時間がかかってしまいました。

今回の第三者評価を受けて、ご指摘を受けた点につきましては職員全員が真摯に受け止め、子どもたちによりよいサービスの向上・提供を目指していきたいと思っております。

⑥第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（児童養護施設）

1 養育・支援

(1) 養育・支援の基本	第三者評価結果
① 子どもの存在そのものを認め、子どもが表出する感情や言動をしつかり受け止め、子どもを理解している。	a・ (b) ・c
② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a・ (b) ・c
③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a・ (b) ・c
④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	a・ (b) ・c
⑤ 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a・ (b) ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>職員一丸になり、関係機関と連携しながら、年齢や能力等特性に合わせた養育に努めている。問題発生予防の一層の努力と、問題が発生した場合の一層丁寧な関わりとを望みたい。</p>	
(2) 食生活	第三者評価結果
① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	a・ (b) ・c
② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	(a) ・b・c
③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a・ (b) ・c
(3) 衣生活	第三者評価結果
① 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	(a) ・b・c
② 子どもの衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a・ (b) ・c
(4) 住生活	第三者評価結果
① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	a・ (b) ・c
② 子ども一人一人の居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	a・ (b) ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>子どもは、テーブル毎に職員と和やかに言葉を交わしながら家庭的な雰囲気の中で食事をしている。さらに無理強いしない食事指導もなされている。</p> <p>食事時間は団らんを大切にするとともに、食材購入や衣類管理等自立生活力を育むよう一層期待したい。</p>	

(5) 健康と安全	第三者評価結果
① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	Ⓐ・b・c
② 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	Ⓐ・b・c
(6) 性に関する教育	
① 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・Ⓑ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>職員による健康観察や嘱託医との連携による健康管理、さらに心理士によるメンタルケアに努めている。</p> <p>年齢等に配慮しながら、適切な性教育にも取り組むよう望みたい。</p>	

(7) 自己領域の確保	第三者評価結果
① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	a・Ⓑ・c
② 成長の記録（アルバム）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	Ⓐ・b・c
(8) 主体性、自律性を尊重した日常生活	
① 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している	Ⓐ・b・c
② 主体的に余暇を過ごすことができるよう支援している。	a・Ⓑ・c
③ 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	Ⓐ・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>個人アルバムをはじめ、本人が希望する物をロッカーに保管したり、日用品の個人所有や発達レベルに応じた金銭管理等自己領域の確保や主体性、自立性尊重に努めている。</p> <p>個別及び共有スペースの拡充に努められたい。</p>	

(9) 学習・進学支援、進路支援等	第三者評価結果
① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a・Ⓑ・c
② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	Ⓐ・b・c
③ 職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a・Ⓑ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>家庭教師による学習指導や、関係団体の支援を活用して進学を奨励するなど支援に努めている。</p> <p>高校生のアルバイトの他に、年齢に合った職場体験・実習等、施設としての社会経験の拡充に取り組まれたい。</p>	

(10) 行動上の問題及び問題状況への対応	第三者評価結果
① 子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に、行動上の問題及び問題状況に適切に対応している。	a・ (b) ・c
② 施設内で子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a・ (b) ・c
③ 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	a・ (b) ・c
(11) 心理的ケア	
① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	(a) ・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>「養育・支援のマニュアル」に基づき職員が連携し、必要に応じて心理士も加わるなど、外部機関も利用して対応に努めている。 マニュアルのオリジナル化、保護者対応のマニュアル策定が望まれる。</p>	

(12) 養育の継続性とアフターケア	第三者評価結果
① 措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	a・ (b) ・c
② 家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a・ (b) ・c
③ できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a・ (b) ・c
④ 子どもが安定した社会生活を送ることができるよう退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a・ (b) ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>適宜対応できているが、マニュアルの具体的記述化や措置変更の手順書策定、関係書類の様式化が望まれる。</p>	

2 家族への支援

(1) 家族とのつながり	第三者評価結果
① 児童相談所や家族の住む市町村と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	a・ (b) ・c
② 子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	(a) ・b・c
(2) 家族に対する支援	
① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・ (b) ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>家庭支援専門相談員や親子生活訓練室を構えるなど積極的取組みが見られる。 今後は同相談員の専従化や訓練室の活用等により、保護者支援についても努められたい。</p>	

3 自立支援計画、記録

(1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定	第三者評価結果
① 子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	a・ (b) ・c
② アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	a・ (b) ・c
③ 自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	a・ (b) ・c
(2) 子どもの養育・支援に関する適切な記録	
① 子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	(a) ・b・c
② 子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	(a) ・b・c
③ 子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	(a) ・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>記録の保管は適切になされている。 アセスメントや支援計画の策定・見直しは行われているが、作業の手順や仕組みを明示するようさらなる工夫を望みたい。</p>	

4 権利擁護

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者評価結果
① 子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	(a) ・b・c
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	a・ (b) ・c
③ 子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	a・ (b) ・c
④ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	(a) ・b・c
⑤ 子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	(a) ・-・c
(2) 子どもの意向への配慮	
① 子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	a・ (b) ・c
② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組む。	(a) ・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>職員と子どもが共に過ごすことが多く、子どもの意向が伝わりやすい生活スタイルが見られる。 子ども自身の出生や生い立ちの開示についての手順書を作成し、子ども自身や関係者からの申し出に対し、個々の事情に即した適切な対応に備えるよう期待したい。 個人情報とプライバシー保護については別に扱い、それぞれを適切に管理するよう望みたい。</p>	

(3) 入所時の説明等	第三者評価結果
① 子どもや保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	a・(b)・c
② 入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・(b)・c
③ 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されるに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	a・(b)・c
(4) 権利についての説明	
① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a・(b)・c
(5) 子どもが意見や苦情を述べやすい環境	
① 子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	(a)・b・c
② 苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	a・(b)・c
③ 子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	a・(b)・c
(6) 被措置児童等虐待対応	
① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	(a)・－・c
② 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・(b)・c
③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・(b)・c
(7) 他者の尊重	
① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	(a)・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>丁寧な子ども用入所案内が作成されており、入所時の不安や緊張への配慮が認められ、社会体験に高齢者施設を活用するなどの取組みが認められる。</p> <p>今後は、入所児の保護者向けの案内や、ホームページでの施設紹介、苦情公表等の新たな取組みを検討されたい。</p> <p>虐待対応について、関係規則等を基にしたマニュアルの作成が望まれる。</p>	

5 事故防止と安全対策

	第三者評価結果
① 事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a・(b)・c
② 災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	a・(b)・c
③ 子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	a・(b)・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

対応マニュアルは策定されているが、新たな情報を加えるなど、定期的な見直しを行う体制の整備が望まれる。

6 関係機関連携・地域支援

	第三者評価結果
(1) 関係機関等の連携	
① 施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	a・(b)・c
② 児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	a・(b)・c
③ 幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校など子どもが通う学校と連携を密にしている。	a・(b)・c
(2) 地域との交流	
① 子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	a・(b)・c
② 施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	a・(b)・c
③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	a・(b)・c
(3) 地域支援	
① 地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	a・(b)・c
② 地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	a・(b)・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
関係機関との連携が保たれ、地域との交流や地域の児童関係組織への参加等の貢献がなされている。 施設の特性に合わせた、地域や関係機関との関係の拡充に一層努められたい。	

7 職員の資質向上

	第三者評価結果
① 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a・(b)・c
② 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a・(b)・c
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	(a)・b・c
④ スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	a・(b)・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
経験年数に応じた研修目標が立てられ、研修結果の評価・分析が行われるなど整備された態勢で資質向上が図られている。 研修についての基本姿勢が明示された中・長期計画の策定が望まれる。	

8 施設の運営

(1) 運営理念、基本方針の確立と周知	第三者評価結果
① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	a・b・c
② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	a・b・c
③ 運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・b・c
④ 運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・b・c
(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定	
① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	a・b・c
② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	a・b・c
③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	a・b・c
④ 事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・b・c
⑤ 事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>運営理念や基本方針の明文化、事業計画の策定、行事についての説明はなされているが、事業計画の基になる中・長期計画の策定が望まれる。</p>	

(3) 施設長の責任とリーダーシップ	第三者評価結果
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	a・b・c
② 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	a・b・c
③ 施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a・b・c
④ 施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	a・b・c
(4) 経営状況の把握	
① 施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	a・b・c
② 運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	a・b・c
③ 外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	a・b・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

職員の勤務や健康状況を見つつ、限られた人員を状況に応じて配分し業務の円滑化が図られている。関係組織からの情報を集め施設運営に生かしている。

関係法令や資料等をリスト化して適切な施設運営に適時活用しやすいよう備えるなどの取組みを期待するとともに、外部監査の実施についての検討を期待したい。

(5) 人事管理の体制整備	第三者評価結果
① 施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	a・ (b) ・c
② 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	a・b・ (c)
③ 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	a・ (b) ・c
④ 職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	a・ (b) ・c
(6) 実習生の受入れ	
① 実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	a・ (b) ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>専門職員の確保や実習生対応の努力が認められる。 客観的基準に基づいた定期的人事考課システムの整備や職員の福利厚生の向上を図るなどの検討を期待したい。</p>	

(7) 標準的な実施方法の確立	第三者評価結果
① 養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	(a) ・b・c
② 標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを施設全体で実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	a・ (b) ・c
(8) 評価と改善の取組	
① 施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	(a) ・b・c
② 評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	a・ (b) ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>養育・支援についてのマニュアルを策定し対応に努めており、自己評価・第三者評価への全職員による取組みが認められる。 マニュアルの更新と更新歴の記録が望まれる。</p>	